

事務事業事後評価表

〈基本情報〉

事務事業の名称 【1】	職員の任免及び定員管理事務		所管課 【2】	総務課
			評価者(担当者)	下田 啓司
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑥みんなで進める協働のまちづくり		
	主要施策(節)	(5)行財政運営の効率化		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(3)職員の計画的人事配置と育成		
		<input checked="" type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 地方自治法、地方公務員法 】			
		<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 定員適正化計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	2 項 1 目 1 細目 14

〈事務事業の目的〉

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	職員の任免について、地方公務員法や条例、規則等により適正に実施する必要がある。また、簡素で効率的な行財政のしくみを構築するために、定員の適正化を図っていく必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	特別職、一般職員、臨時職員、非常勤職員等
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	適材適所の職員配置を行い、服務規律を確立することで職員の意欲、公務効率の向上を図る。

〈事務事業の概要〉

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度									
【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】										
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【									
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【									
事務事業の具体的内容 【14】	職員(特別職、一般職員、任期付職員、再任用職員、臨時職員、非常勤職員)の任免に関する事務、職員定員適正化計画の策定及び計画に基づく職員数の調整。									
	事務事業を構成する細事業 【15】 <table border="1"> <tr><td>①</td><td>定員管理事務</td></tr> <tr><td>②</td><td>人事異動事務</td></tr> <tr><td>③</td><td>臨時・非常勤職員の任免事務</td></tr> <tr><td>④</td><td>職員募集事務</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>任期付職員採用事務</td></tr> </table>	①	定員管理事務	②	人事異動事務	③	臨時・非常勤職員の任免事務	④	職員募集事務	⑤
①	定員管理事務									
②	人事異動事務									
③	臨時・非常勤職員の任免事務									
④	職員募集事務									
⑤	任期付職員採用事務									

〈事務事業実施に係るコスト〉

			H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金						
		県支出金						
		起債						
		受益者負担						
		その他(別途臨時非常勤計上)						
		一般財源	3,292	3,259	313	787		
		【16】 小 計	3,292	3,259	313	787	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			3,001	1,854	167	167	
	職人件費	職員人工数	0.88	0.61	1.11	1.26		
		職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761		
【17】 小 計		4,773	3,514	6,395	7,259			
合 計			8,065	6,773	6,708	8,046		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 定員管理事務	定員適正化計画の策定、計画の実行	年度当初職員数	人	538	526	514	499
② 人事異動事務	人事異動の実施	年度当初異動職員数	人	208	223	245	230
③ 臨時・非常勤職員の任免事務	臨時・非常勤職員の任免	臨時職員及び非常勤職員数	人	636	518	588	600
④ 職員募集事務	次年度の新規採用職員の募集	新規採用職員数	人	9	7	14	24
⑤ 任期付職員採用事務	任期付職員の任免	任期付職員数	人	3	3	3	2

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
1 定員管理適正化計画に基づく職員数削減の達成率	定員管理適正化計画の目標値÷実績×100	%	100	100	100	100
			101	101	102	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	第2次定員適正化計画の目標数(H28.4.1現在)502人を達成した。今後は504人を基準に業務量等により柔軟な定員管理を行っていく。しかしながら、定年延長の開始時期によっては、計画の大幅な見直しが発生すると思われる。
昨年からの見直し・改善状況【32】	再任用の義務化に伴う再任用職員(新規)を8名(フルタイム1名、短時間7名)任用した。また、保育ニーズ、待機児童の削減のために民営化を見据えた保育士の定員管理を行うこととした。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	数値的には、職員定員適正化計画に基づいた任用が確実に実行された。今後も再任用の義務化、定年延長など国の動向に注視し、行政の高度化、多様化に対応すべく定員504人を基本に効率的な採用、人事配置を行っていく。	評価責任者 瀬崎 正治
------------------	--	----------------